

KKNラダー（光仁会梶川病院看護師ラダー）

		レベル I	レベル II	レベル III	レベル IV
目標		助言を受けて、円滑かつ着実に遂行ができる 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	経験を活かした実践ができる。自らの気づきを基に、提案実行できる 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	高い専門性を有し、チームの目標を意識し、達成できるよう行動できる ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	チームリーダーとして、メンバーを指導し、グループ・係を目標達成に導ける 幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
組織 感覚	フォローアップ リーダーシップ	<input type="checkbox"/> メンバーとしての役割を理解できる <input type="checkbox"/> 目標に向けて周囲と協力して仕事を進められる	<input type="checkbox"/> 目標に向けて自主的に後輩をフォローし、周囲と協力して仕事を進められる	<input type="checkbox"/> チームの目標に対する自分なりの方針を伝え、メンバーから意見を集めることができる <input type="checkbox"/> チーム全体が積極的に業務に取り組めるようメンバーを支援できる	<input type="checkbox"/> チームの目標に対する方針を打ち出し、実現に向けて環境整備（有形無形の仕事のやりやすさ）を行える <input type="checkbox"/> メンバーの動機づけを行える
	マネジメント力	<input type="checkbox"/> 病院の理念、規則、マニュアルの掲示、設置場所を知っている <input type="checkbox"/> 病院理念を理解し、規則、マニュアルを読んで理解している <input type="checkbox"/> 時間管理や物品、医療材料の効率的な活用ができる	<input type="checkbox"/> 病院の理念、規則、マニュアルに沿った行動を率先して実践できる <input type="checkbox"/> 原価意識をもって時間や資材をより効率的に活用し管理できるよう周囲と協働している	<input type="checkbox"/> チームの適正な時間管理、物品管理が実行できているか常に確認している <input type="checkbox"/> 必要に応じて指導助言ができる	<input type="checkbox"/> チームの適正な時間管理、物品管理、患者管理をメンバーに働きかけることができる <input type="checkbox"/> メンバーの士気や生産性を向上させ、法令順守と生産性の高い職場環境を作れる
	リスク管理	<input type="checkbox"/> 状況の変化を察知できる <input type="checkbox"/> 災害やトラブルなどの緊急時に、すぐにマニュアルに沿った行動がとれる	<input type="checkbox"/> 状況の変化を察知し、理解できる <input type="checkbox"/> 災害やトラブルなどの緊急時に関するマニュアルや規程を熟知し、状況に応じた行動がとれる	<input type="checkbox"/> 先を見据えて担当チームの仕事を取り巻く状況に起こる変化を予測できる <input type="checkbox"/> KYT活動等、メンバーとリスクについて情報を共有し、対策を検討し、早期対応を始められる	<input type="checkbox"/> 担当業務の変化を予測できる <input type="checkbox"/> 予見したリスクに対し、組織として早期対応をすべきことを自ら率先して手を打ち始められる
人材育成		<input type="checkbox"/> 現場での日々の実践を通して学ぶことができる <input type="checkbox"/> 同僚や先輩からの助言や指導により、自己成長を図れる	<input type="checkbox"/> 同僚や後輩の成長に繋がるよう指導できる <input type="checkbox"/> 同僚や先輩からの助言や指導により、自己成長を図れる <input type="checkbox"/> プリセプターとしての役割を理解し、周囲と連携しながら後輩を指導できる	<input type="checkbox"/> メンバーの成長に繋がるよう個別に分かりやすく助言、指導できる	<input type="checkbox"/> 最新の専門知識や技術を主体的に習得している <input type="checkbox"/> メンバーの成長のために経験させるべき場면을意図的に作り出せる
両立 (ワークライフバランス)		<input type="checkbox"/> 両立に関する権利と義務を知っている <input type="checkbox"/> 両立支援制度を適切に活用できる <input type="checkbox"/> 周囲の理解と協力を得て、仕事と生活の調和を図るよう行動できる	<input type="checkbox"/> 両立に関する権利と義務を理解できる <input type="checkbox"/> 両立支援制度を適切に活用しながら、仕事と生活の調和を図ることができる	<input type="checkbox"/> 両立支援制度を適切に活用し、仕事と生活の調和を図り、働き甲斐のある職業生活を送ることができる <input type="checkbox"/> 自ら権利と義務を遂行する模範となり、後輩に助言指導できる	<input type="checkbox"/> チームメンバーの多様性を理解し、働き甲斐のある組織づくりに向け、積極的に関係者と調整を図ることができる <input type="checkbox"/> 両立支援体制の周知や活用を積極的に推進できる <input type="checkbox"/> ロールモデルになれる
看護の核となる 実践能力	ニーズをとらえる力	<input type="checkbox"/> 助言をうけながら患者に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアル（価値観や信条）な側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 患者の状況から緊急度をとらえることができる	<input type="checkbox"/> 自立して患者に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアル（価値観や信条）な側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報をもとに、患者の全体像としての課題をとらえることができる	<input type="checkbox"/> 患者に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアル（価値観や信条）な側面から個性を踏まえ必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	<input type="checkbox"/> 予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアル（価値観や信条）な側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる
	ケアする力	<input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる <input type="checkbox"/> 指導を受けながら、患者に基本的援助ができる <input type="checkbox"/> 看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる	<input type="checkbox"/> 患者の個性を考慮しつつ標準看護計画に基づきケアを実践する <input type="checkbox"/> 患者に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる <input type="checkbox"/> 患者の状況に応じた援助ができる	<input type="checkbox"/> 患者の個性に合わせて、適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> 患者の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる <input type="checkbox"/> 患者の個性をとらえ、看護実践に反映ができる	<input type="checkbox"/> 患者の顕在的・潜在的ニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> 幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる
	協働する力	<input type="checkbox"/> 助言を受けながら患者を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる <input type="checkbox"/> 患者を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる <input type="checkbox"/> Sバーを使って、連絡・報告・相談ができる	<input type="checkbox"/> 患者を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる <input type="checkbox"/> 関係者と密にコミュニケーションを取ることができる <input type="checkbox"/> 看護の展開に必要な関係者を特定できる <input type="checkbox"/> 看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	<input type="checkbox"/> 患者の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力しながら多職種連携をすすめていくことができる <input type="checkbox"/> 患者とケアについて意見交換ができる <input type="checkbox"/> 積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	<input type="checkbox"/> 患者がおかれている状況（場）を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる <input type="checkbox"/> 多職種間の連携が機能するように調整できる <input type="checkbox"/> 多職種の活力を維持・向上させる関わりができる
	意思決定を支える力	<input type="checkbox"/> 助言を受けながら患者や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる	<input type="checkbox"/> 患者や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる <input type="checkbox"/> 確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	<input type="checkbox"/> 患者や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供することができる <input type="checkbox"/> 患者や周囲の人々の意向の違いが理解できる <input type="checkbox"/> 患者や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	<input type="checkbox"/> 患者や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる